

平成 30 年度漁協販売担当者会議開催

7月27日（金）水産会館において、平成30年度漁協販売担当者会議を開催。関係者35名（漁協販売担当者18名）が出席し、講演と意見交換をおこなった。

1. 水産物消費の現状及びプライドフィッシュの販売・輸出拡大について

JF全漁連 輸出・直販事業部 部長 三浦 秀樹

日本の水産物消費の現状や日本の漁業について説明の後、プライドフィッシュプロジェクトを活用した事例の紹介があり、百貨店でのフェア開催やプライドフィッシュ及び地魚を一般消費者へ周知するため、Fish-1グランプリの開催等が報告された。

また、海外へ向けた国産水産物の消費拡大について海外バイヤーが日本産水産物に期待する事が資料を交えて説明され、例としてJF全漁連のシンガポール事業展開（アンテナショップKANDAWADATSUMI）でのセミナーやフェア開催の実例が紹介された。

会議後に本県でのプライドフィッシュのラベル作成や県外荷受けへのPR等について、意見交換がおこなわれた。

2. 浜プラン 全国優良事例について

JF全漁連 浜再生推進部 部長 高井 紀一

浜の活力再生プランについて、全国で実施されている取組状況説明や他県での優良事例3件（JF小田原・JF山形・JFいしかわ）の報告があった。JFいしかわのトラックによる市場の集荷システムは、本県のアクションプランでも検討されており、導入までの課題やメリット・デメリットなど今後の取組の参考になると思われる。また、本県での第2期目浜プラン策定におけるポイントが資料を交えて説明された。

